

第3回 町民討議会

～未来デザイン会議～

グループワーク

「町民から町民へ～

つくってみよう！

リーフレット」

事例紹介



伊丹市公共施設再配置基本計画の概要

1. 本計画の位置づけ

①背景・計画策定の経緯

- ◆ 公共施設の老朽化、更新問題の顕在化（全国的問題）
- ◆ 課題解決に向けた取組
 - ・ H24.3 伊丹市公共施設白書（H26.10 改訂）
 - ・ H27.3 公共施設等総合管理計画策定
 - ・ H27.10 伊丹市行政審議会*（答申）
「公共施設の有効活用等について」

答

- 10年・20年後のまちづくりに関する施設の有効活用
- 施設分類毎に今後の取組方針をとりまとめ

答申を踏まえ、本計画（再配置基本計画）を策定

※：有識者、関係団体（PTA、連合会、自治会連合会）、公募市民等で構成

②計画期間

- ◆ 平成 28～42 年度（総合管理計画と同様）

③計画の位置づけ・対象範囲

- ◆ 総合計画の基本理念のもと、各計画との連携を図りながら計画を推進
- ◆ 【対象施設】建物施設

2. 伊丹市の地域特性（抜粋）

人口

年齢別人口の推移と将来推計

【総人口】	19.6万人 (-8.0%)	→	18.0万人 [19.7万人]
【生産年齢】	12.7万人 (-20.9%)	→	10.1万人
【年少】	3.0万人 (-30.5%)	→	2.1万人
【高齢者】	3.9万人 (+60.7%)	→	5.9万人

出典）国立社会保障・人口問題研究所

財政

歳出（普通会計）

- ◆ 平成 26（2014）年度の扶助費は約 183 億円。歳出全体の 26.7%（約 4 分の 1）を占める。
- ◆ 扶助費と社会保障関連も含む補助費等は増加。一方で、人件費と投資的経費（普通建設事業費等）は、年変動はみられるものの減少で推移。

ライフスタイルの変化

世帯構成

- ◆ 核家族世帯や単身世帯数は増加。
- ◆ 三世帯世帯は減少。

保育所・幼稚園

- ◆ 【幼稚園】2013 年はピーク時（1978 年 4,900 人）の 76%（3,700 人）
- ◆ 【保育所】過去より増加で推移。2013 年は 2,500 人

3. 公共施設の現状と課題

延床面積

築年数

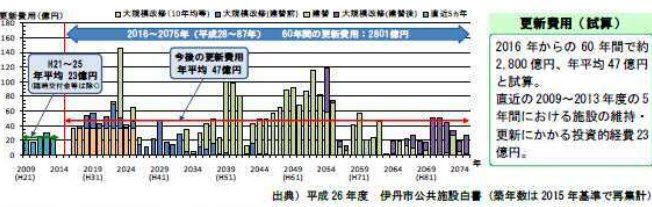
コストの状況

学校教育施設 39%、住宅施設 18%（高者で 57%）

築 30 年以上の建物が全体の 69%。老朽化が進行

耐震性ありが 81%、耐震性なし・未確認が 19%

人件費 34%（43 億円）、減価償却費 21%（27 億円）



4. 再配置の基本的な考え方（共通方針）

施設分類に捉われず全ての施設を対象として検討する事項については、共通の方針を掲げる。

—— 基本的な考え方（共通方針）——

機能移転

耐震性がない施設については、機能移転による事業継続を基本に検討

複合化

大規模修繕や建て替えを検討する際には、相乗効果が現れる機能移転・複合化を基本に検討

長寿命化

次世代に引き継いでいく施設は、LCC 縮減の観点で、計画的に保全・長寿命化

有効活用

既存施設の余剰空間、時間等を市全体として有効活用。他機能の受け入れや新たなニーズに対応

民間活力

民間のノウハウ・技術などを活用し、サービスの向上、事業の効率化、財政負担の軽減を図る

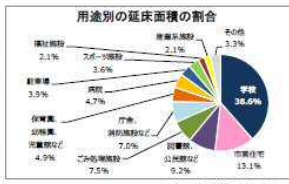


公共施設を取り巻く状況

◆全国平均より2割多い公共施設

市内には数多くの公共施設があり、建築物^{※1}の総延床面積は約42.3万㎡に上ります。
市民一人当たりの延床面積は3.81㎡^{※2}で、全国平均(3.22㎡)^{※3}に比べ約18%多くなっています。

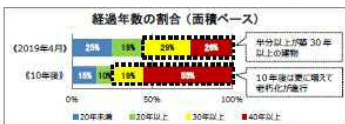
※1 上下水道施設の構築物は除く
※2 建築基準法による平成31(2019)年1月1日時点の人口に算出
※3 公共施設及びインフラ事業の事業費の比較分析に関する調査結果(平成24年3月最終版)



出典：公共施設管理室とりまとめ

◆約半分の施設が築30年以上

施設完成からの経過年数を見ると、半分以上が30年以上経過し、中でも40年以上経過したものが全体の25%以上を占めています。



出典：公共施設管理室とりまとめ

◆全ての公共施設を維持・更新することは不可能

今ある公共施設をすべて同じ規模で維持・更新すると仮定し、建替えや大規模改修にかかる金額を試算すると、今後40年間で約1,392億円、1年当たり約34.8億円が必要です。
一方、平成24～28(2012～2016)年度の5年間に市が公共施設の維持・更新に支出した金額は1年当たり約22.5億円であり、すべての公共施設を同じ規模で維持・更新していくことは不可能と言えます。

◆進む少子化・高齢化

今後、市の人口は減少を続け、2055年には2015年と比較して37%減少する推計となっています。
区分別人口構成では、年少人口と生産年齢人口は一貫して減少し、特に生産年齢人口はおよそ半分にまで減少します。
生産年齢人口の減少に伴い、市税収入は今後減少すると考えられ、公共施設などの整備に使える金額は現在よりも減少することが予想されます。



出典：平成30年度 多治見市総合計画見直しに伴う将来人口推計書

◆増え続ける社会保障費

市の財政状況(歳出)の推移を見ると、人件費、公債費、維持補修費は減少または横ばいで推移していますが、扶助費は増加傾向にあり平成29(2017)年度は67.0億円となり、平成17(2005)年度の2倍以上となっています。
高齢化が進むことなどにより、今後も扶助費の増加が見込まれます。



出典：公共施設管理室とりまとめ

公共施設適正配置計画の内容(1)

公共施設適正配置計画は、平成29(2017)年8月に策定した公共施設適正配置基本方針を踏まえ、公共施設の方針を様々な視点から検証・評価し、施設ごとの具体的な取り組み方法や内容、スケジュールなどを検討した結果をまとめたものです。

公共施設適正配置基本方針《要旨》

平成29(2017)年8月策定

- 公共施設全体のスリム化
 - 数値目標を定め、保有量を圧縮
 - 既存ストックの有効活用
 - 新設などの際は既存施設の廃止を定める
- 施設(ハコ)重視から機能(サービス)重視への転換
 - 「一施設=多機能」への転換
 - 機能的な既存施設の複合化を推進
 - 建替えなどの際は原則、複合施設化
- 施設の用途や種別、利用圏域等でマネジメント
 - 用途や利用圏域などで整理し、機能優先度を明確化
 - 実施を踏まえ個別施設の方向性を検討
- 積極的な公民連携
 - 建替えなどの際は公民連携を検討
 - 施設運営は民間活用や地域と連携・協働
- 施設(ハコ)の有効活用と予防保全の推進
 - 施設更新を総合計画に掲げ実施
 - 必要な施設の長寿命化、計画的な予防保全
- 総合計画、行革大綱との運動
 - 施設統合は行政改革大綱に掲げ実施

対象施設

151施設
市民の皆さんが利用する主な公共施設が対象です。
(庁舎、学校、保育園、幼稚園、公民館、図書館、福祉施設、体育館、市民病院など)
※インフラ施設や建築物以外の施設は対象外。

計画期間

40年間
2019～2058年度
長期にわたる計画のため、多治見市総合計画(市の最上位計画)の策定期間にあわせて4年ごとに見直しを行います。

縮小目標

40年間で35%圧縮
必要な機能を維持しつつ、公共施設の延床面積や施設運営費を圧縮していきます。

機能優先度

基本方針に基づき、施設そのものではなく機能に着目して機能優先度を設定しました。
【優先度】小・中学校、総合体育館、庁舎、消防本部-消防署
【優先度】保育園、幼稚園、市民病院
【その他】上記以外の施設

施設の評価

各施設を機能(ソフト)面、建物(ハード)面の2方面から評価しました。

施設分類別の方向性

個別施設の方向性を定めるに当たり、施設分類別の方向性を明確にしました。
《例：小学校の方向性》
小学校は、その範囲(校区)が地域の最小単位でもあり地域の核・集約的施設であることから、優待が図れます。
そのため、多治見市全体の施設を機能別(複合化)や施設をまとめることにより、少人数に合わせた学校運営の上で改善が図れる場合は、学校統合を検討します。

今後の方向性と実行計画・展望計画は、対象の151施設すべてで定めています。この概要版では、2019～2023年度の実行計画期間に建替え、統合・複合化、移転などを計画している主な施設を掲載しています。



施設名	方向性	実行計画					展望計画			
		2019	2020	2021	2022	2023	2024～31	2032～39	2040～47	2048～58
市役所本庁舎	適地に適正な規模で建て替えます。建替え後は長く使用するために適切に管理します。将来的にはフロア単位での譲渡や賃借などの方策(ソフト面)も検討し、有効活用を図ります。現在の建物の方向性については、①別用途での活用、②解体などを検討します。	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
京原中央公民館	機能を維持し、建物長く使用するために適切に管理します。ただし、アtrイホールは文化会館(ローソクホール)に集約し、ホール部分は解体します。合わせて、内部改修により100人程度収容できる大講堂を設置します。《8次行革取組事業》 また、将来的には原児童館と機能統合し、複合化します。(目標：2025年度まで)	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
発達支援センター「なまよし」「ひまわり」	「なまよし」「ひまわり」は維持し、機能を維持します。統合手法は、①統合施設(スペース)への移転、②保育園・幼稚園の建替えと同時に複合化、③公民館による適地の新築移転、などを検討します。《8次行革取組事業》	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
かほら福祉センター	機能の大半(デスクなどは除く)は、総合福祉センターに集約します。ただし、老人福祉の一部(高齢者サロン機能など)は原中央公民館に移転します。移転後の建物は、譲渡または解体します。《8次行革取組事業》	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
小泉保育園	当面は現状のまま維持します。小泉保育園と北野保育園の統合を検討し、2023年度までを目途に適切な手法で整備します。《8次行革取組事業》	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
北野保育園	同上	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
坂上児童館	繁旺公民館に移転し、機能統合(複合化)します。移転後の建物は、地元へ譲渡します。《8次行革取組事業》	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
本土児童館	繁旺公民館に移転し、機能統合(複合化)します。移転後の建物は、譲渡します。《8次行革取組事業》	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画

多治見市公共施設適正配置計画



一葉目河内長野市役所

お！初めて見た写真撮ってもいいですか？

モックル！

モックル

はい！いいですね！

はい！いいですね！

はい！いいですね！

モックルと学ぼう！
公共施設等の維持・更新問題。

この冊子は、河内長野市が進める「公共施設等の維持・更新問題」とその対応の一つとして策定いたしました「公共施設再配置計画」について、市民のみなさんにわかりやすくお知らせし、関心をもっていたために作成したものです。
※なお、文中のモックルの発言にある「・・・くる」は、モックルの話し言葉として記載しています。

人口減少、少子・高齢化が進んでお金がない中、大事な社会保障とか全て無視して全部の公共施設を建替えちゃっていいんだね？

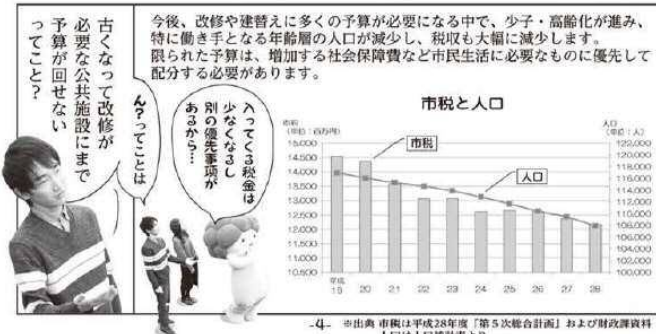
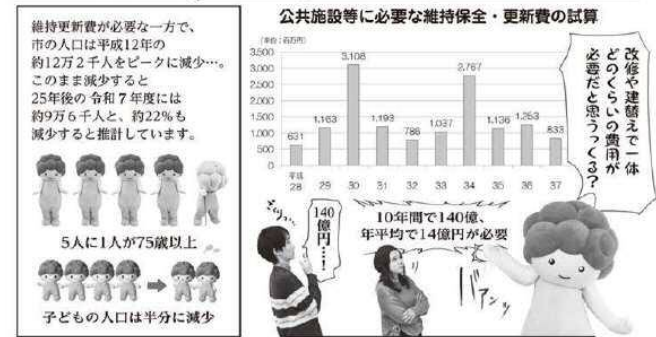
ええ？それは困るけど・・・って顔怖っ

はい！いいんだね！

ほう！

じゃすればいいじゃん

要するに古くなって改修や建替えをしないやだめなことですよ？



-4- 市出典 市税は平成28年度「第5次総合計画」および財政資料 人口は人口統計表より



世界
ミライづくり
ワークショップ

2023 ▶ 2032



泉南市のこれ知ってる？

みなさんは、住んでいるまちについて考えたことがありますか？次のクイズにチャレンジしてみましょう。

Q1

泉南市にはどれくらいの人が住んでいるでしょうか？

A

人

10年前と比べてどうなっているか
しらべてみよう。
10年後はどうなっているかな？

Q2

泉南市の面積は関西国際空港の約何倍分でしょうか？

A

個分

泉南市の大きさをしらべてみよう。
思っていたより大きかったかな？

Q3

泉南市ができた(市になった)のは何年でしょうか？

A

年

あなたが生まれる何年前でしたか？
どんな時代だったかしらべてみよう。

Q4

泉南市では1年間にどれくらいのお金がつかわれているでしょうか？

A

円

何にどれくらいつかわれているか、しらべてみよう。
もともとはどれのお金だったのかな？

正解は3ページへ！

第6次泉南市総合計画をつくりました。

総合計画って何？

何のためにつくるの？
泉南市がみなさんにとって「いつまでも住み続けたいまち」であるために、暮らしやすく、しあわせを届けられるまちをみなさんといっしょにつくっていくことをめざしています。

わたしたちができることはあるの？
一人ひとりが自分の住むまちのミライを考えたり、自分ができることを考えることが新たな「ええやん」を生み出します。泉南市にとってどんなことが必要か考え、みんなの力を合わせて、これからのまちづくりを進めましょう。

どうやってつくったの？

10年後の泉南市がどんなまちになったらいいか、市民のみなさんといっしょに考えました。



市民のみなさんとまちのいいところをもっとよくしたいと考え、これからはなまにしてほしいお願いがありました。

小中学生と大人に、泉南市についてが考え方をアンケートで調査してもらいました。

子どもたちが集まるせんなん児童館では、10年後の泉南市を想像しながら、「未来新聞」をつくりました。



Mizumaki - Miraizukan Mizumaki - Miraizukan Mizumaki - Miraizukan Mizumaki - Miraizukan

みずまき みらい ずかん
水巻未来図鑑

～未来、どうやってできていくんだろう？～

図鑑の使い方
1-7 この本について
8-31 まちの人たちといるの聞いてみた おとや編・こども編があるよ
32-40 まちが考えていることはなに
41-47 対話のための聞いてみるよ
48-55 まちがやろうとしていること
56-61 へーそうだったんだ・さび
62-64 まだあってないけど、ほめて

KARAOKE

YAKUBA

Mizumaki - Miraizukan Mizumaki - Miraizukan Mizumaki - Miraizukan Mizumaki - Miraizukan

第5次水巻町総合計画
2018-2027

おとなの人にも聞いてみよう！
水巻町は、どんな町ですか？

もう少しおとなに聞いてみよう！
将来どんな町になってほしいですか？

みんなが集まって、一人ひとりができるのよ！
ストロップンセル、ボールペンを持っていい環境に
やさしくて、笑顔でいる町になってほしい！
アブない人がいない町
学校が楽しいにしてほしい
いまのままでいいけど
子どもが増えるのよ！
みんなが一つになって協力できる町
次の方が多いほうがいい
チームワークつくる
ケンカのない町がいい
評判がいい町になってほしい！
自転車の通学がOKになる
公園に遊具がほしい
学校の設備がほしい
車がぶつかるといいな
夜も明るくて安心な町
マナーよくしてほしい
プロレスがほしい
子どもが安心して遊べる町
自衛隊がほしい町

特徴がないかな・・・

給食が美味しいしいよ

町に昼間、人がいないね

他の地区から人が来ないんだ

道がせまくて自転車に乗りにくい！

公民館の中に本が置いてあるのいいね～

ボーイ捨てが多いイメージかな

銀団士のつながりが強い感じがする

よその町の不動産屋さんが水巻を良く言わないって聞いたことある

コスモスまつりは自慢できるよ

